保証書付

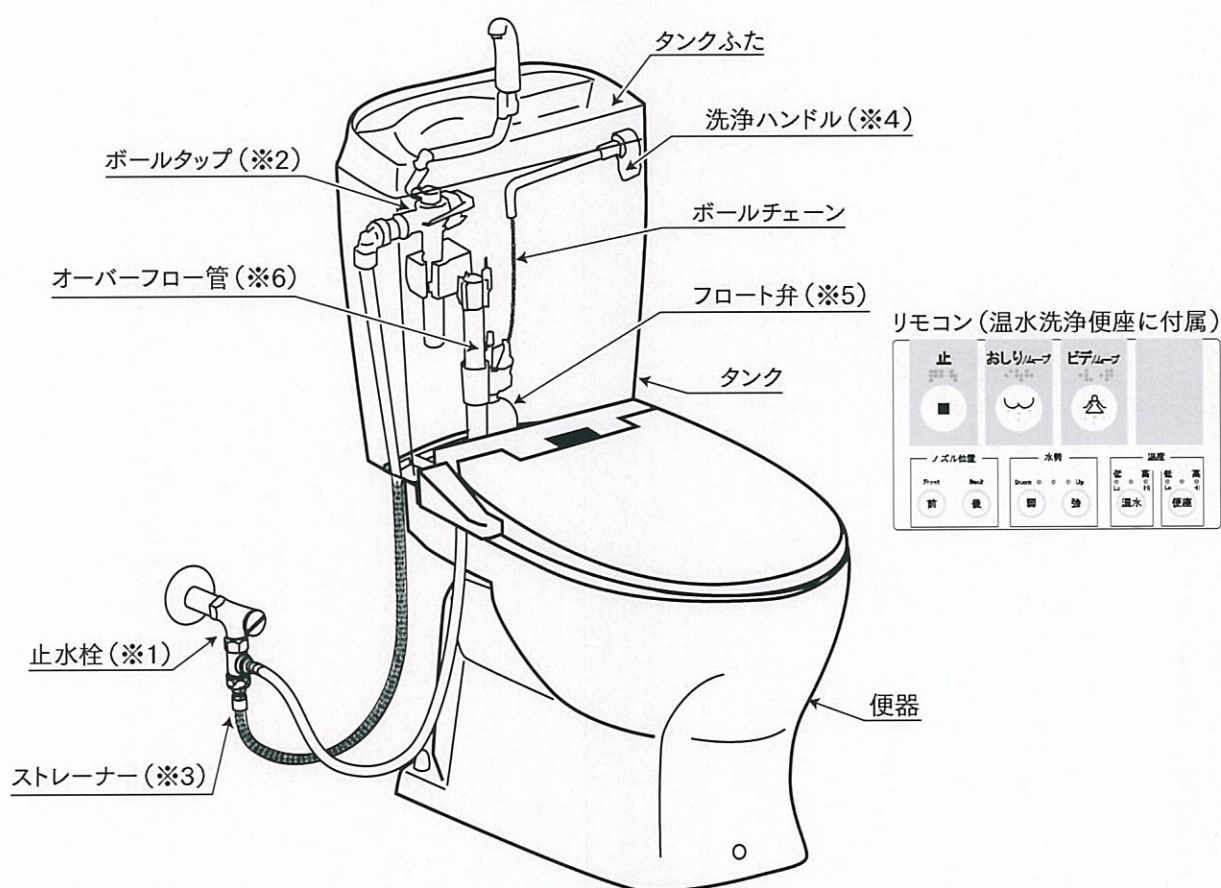
取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

FP226S-2 11.04

安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

各部の名称と働き

止水栓（※1）	ボールタップ（※2）	ストレーナー（※3）
水道水はここを通ってボールタップに行きます。保守・点検などで水を止めたり、給水量の調整を行うための弁です。	水はここからタンクに入り、一定量たまると浮玉の浮力により自動的に水を止め、洗浄ハンドル操作と同時に自動的に給水を始めます。	ボールタップの中に配管内のゴミや砂などが入ると、故障の原因になります。これらのゴミや砂などがボールタップに入るのを防ぎます。
洗浄ハンドル（※4）	**フロート弁（※5）**	**オーバーフロー管（※6）**
フロート弁を持ち上げて、タンク内の水を便器内に流す役目をします。	洗浄ハンドルを操作することによりタンク内の水を便器内に流し、一定量流すと自動的に止水します。	万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、タンクから溢れる前に、ここから便器の方へ水を流します。

用語および記号の説明

警告 ・・・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ・・・・・・ 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

🛇 ・・・・・・ 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

❗ ・・・・・・ 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

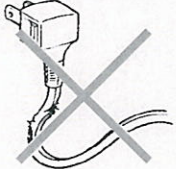
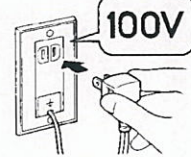
ご使用上の注意

⚠ 警 告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※故障したり、思わぬケガをする恐れがあります。

便座、便ふたなどの樹脂部品にストーブやヒーターなど火気類を近づけないでください。
※変色や故障、火災の原因になります。

電源プラグや電気製品に、水をつけたり、かけたりしないでください
※故障や感電、発火の原因になります。

電源コードは曲げたり、折ったり、ねじったり、傷つけたり、加工を絶対にしないでください。
※感電や発火の原因になります。

電源は交流100Vを使用し、コンセントにガタツキの無いことを確認のうえ、根元までしっかり差し込んでください。
※交流200Vや直流電源を使用しますと、故障や発火の原因になります。

⚠ 注 意

水洗トイレ用の芳香剤を使用する場合は、排水を阻害しないよう、注意してください。
※作動不良を起したり排水を阻害して、手洗いから水があふれ家財を汚す原因になります。

便器には新聞紙、紙おむつ、生理用ナプキンなど詰まり易いものは流さないでください。
※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。

鉛筆、ボールペン、くし、歯ブラシなどは、内部でつかえるので、もし誤って便器内に落とした場合は、必ず拾い出してください。
※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。

便器の排水路が詰まった場合は、そのままで水を流さないでください。
※便器から汚水があふれて家財を汚す原因になります。詰まった時には、市販の吸引器(商品名:ラバーカップ)を使用して汚物を除去してください。

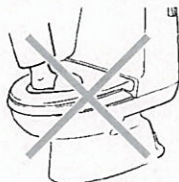
⚠ 注 意

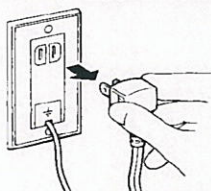
梅雨時や、冬場の暖房時にタンク表面に結露が発生した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
※床にシミを作ったり、床を腐らせる原因になります。

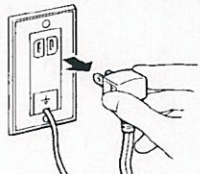
洗浄量を減らすため、タンク内にビール瓶やレンガなどを入れないでください。
※作動不良や詰まりの原因になります。

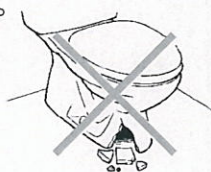
便器に熱湯をかけないでください。
※便器が破損してケガをしたり、漏水により家財を汚す原因になります。

便器に衝撃を与えないようにしてください。
※便器が破損してケガをしたり、漏水により家財を汚す原因になります。

便ふたや便座の上に乗らないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。

直射日光が当たらないようにしてください。
※タンク、便座、便ふたなどの樹脂部品が変色する原因になります。

電源プラグを抜くときはコードを持たず、必ずプラグ部を持って抜いてください。
※コードが損傷して、感電や発火の原因になります。

電源プラグや電気製品に、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ掃除用ティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※樹脂が割れて感電、火災の原因になります。

雷が発生しているときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
※故障の原因になります。

手を洗うときは、石けんなどを使わないでください。
※故障の原因になります。

便器にヒビが入ったり、割れたりした場合、破損部に触れないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。

便器に汚物が付着し、洗浄しても容易に落ちないときは、そのままにしないで、掃除用ブラシなどで汚れを落とし、洗い流してください。
※乾燥して取れにくくなることがあります。

手洗い鉢の中に造花などの飾り物を置かないでください。
※タンク内に侵入して止水不良を起したり排水を阻害して、手洗いから水があふれ、家財を汚す原因になります。

タンクのふたを外したまま、使用しないでください。手洗い用の水が飛び散り、家財を汚す原因になります。

ご使用方法

■便器内の洗浄方法

●用便後、汚物を流す場合には洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。
「小」 小用の場合にお使いになると、洗浄水が少なくてすみます。
「大」 上記以外の場合にお使いください。

注意
●女性の小用の場合、「小」で使用されますと紙が流れない場合がありますので、「大」の方でご使用ください。
●前の洗浄から間を置かずに次を行うと、洗浄ができない場合があります。このようなときは少し間をおき、タンク内に水が十分たまってから洗浄ハンドルを操作してください。
※手洗付きの場合で、吐水口から水が出ている時は、洗浄を避けてください。

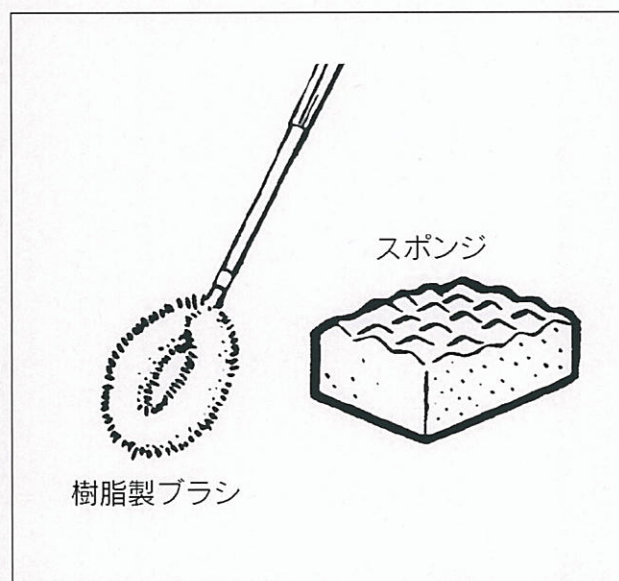
・大、小の操作は、表示に従ってください。
・ハンドルはやさしく操作してください。

お手入れ方法

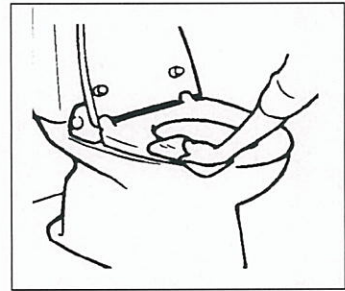
●器具はお手入れ次第で、いつまでも美しさを保ち、長持ちさせることができます。日頃からこまめにお手入れしてください。
なお、クレンザーやみがき粉などの研磨剤の入った洗剤は、表面を傷つけますので、使用しないでください。

■便器内の洗浄方法

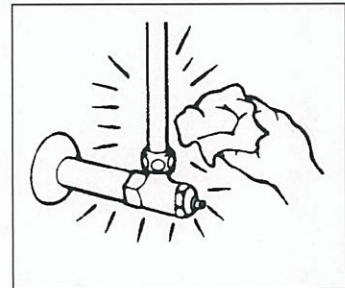
●便器の洗浄面は水で洗われますが、便の状態によっては付着して落ちにくいことがあります。
そのままにしておきますと、乾燥して取れにくくなりますので、汚れたらすぐに洗い流してください。
汚れがひどい場合は、樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を含ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

注意
●熱湯は使用しないでください。
●ガラス質を侵すフッソ化合物入りの洗剤は、使用しないでください。

■便座・便ふた等（樹脂部）のお手入れ

●便座、便ふた等は樹脂製品ですので、柔らかい布でカラ拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を100倍程度に薄め、柔らかい布に含ませ拭き洗いします。このあと、必ず水拭きをして、最後に柔らかい布でカラ拭きしてください。

注意
●表面を傷つける恐れのあるクレンザー、みがき粉、金属またはナイロンたわし、ブラシ等は使用しないでください。
●割れの原因となる中性洗剤以外の洗剤、ベンジン、シンナー等の溶剤や酸、アルカリ、熱湯は、使用しないでください。

■止水栓・給水管等（めっき部）のお手入れ

●見える部分の金具はめっきしてありますが、放っておくと汚れなどにより錆びが生じます。普段は柔らかい布で拭き、時にはミシン油などを染み込ませた布で、みがいてください。

注意
●表面を傷つける恐れのあるクレンザー、みがき粉、金属またはナイロンたわし、ブラシ等は使用しないでください。
●メッキを侵す恐れのある酸性の洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー等の溶剤は使用しないでください。

■結露について

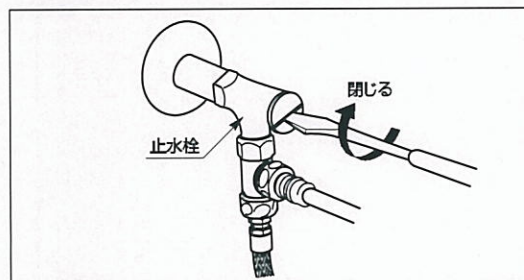
●室温と便器・タンクの表面温度差や湿度条件により、便器・タンクの表面に水滴（結露）が生じることがあります。結露を防ぐためには換気を十分行うのが効果的です。なお、結露が生じた場合は乾いた布で拭きとってください。結露水は床のシミや損傷の原因になります。

長期間使用しない場合

●旅行等で長い間使用しないときは、万一の故障等のために以下の操作を行ってください。

■止水栓を閉じる

●止水栓をマイナスドライバーで右に回し、ロータンクへの給水を止めます。

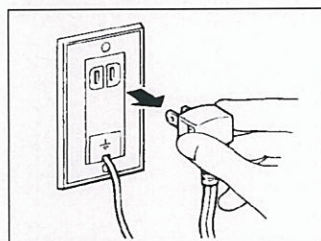
注意
●回す前に、位置を印しておいてください。
●止水栓は施工時に調整してありますので、再使用時に元の位置に戻してください。

■タンクの水を抜く

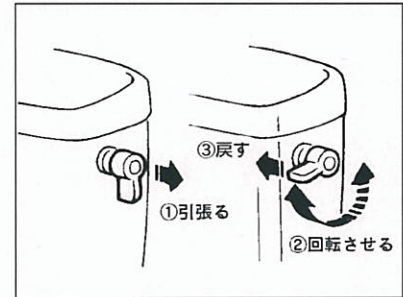
●凍結の恐れがある場合、洗浄ハンドルを操作してタンク内の水を抜いてください。

注意
●便器トラップ内の水は、排水できませんので、汲み出すなどの処置が必要です。
●配管側で水抜き栓が設置されている場合、その操作も併せて行ってください。

■電源プラグを抜く

●コンセントから電源プラグを抜きます。

注意
●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ずプラグ部を持って抜いてください。

冬期凍結の恐れがある場合

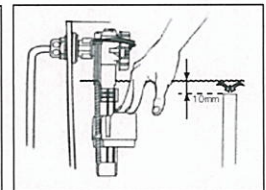
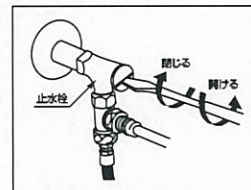
●標準式便器の場合は、室内を暖房してロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。
※水抜式タンクとヒーター便器を併用する場合、室内暖房の必要はありません。
●水抜式タンクの場合の洗浄ハンドル操作方法
※操作する前に、水抜栓で給水を止めてください。
① ハンドルを横に引張ります。
② ハンドルを手前に約90度回転させます。
③ 内側に戻し、ロックされていることを確認します。
●ヒーター便器の場合は、電源プラグをコンセントに差込んでください。

■トイレ内の使用限界温度について

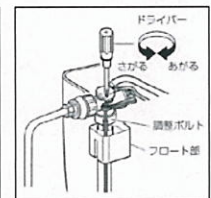
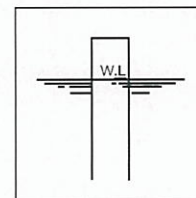
凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。
●ヒーター水抜併用式便器の場合 ・・・・ －15℃以上
●上記以外の便器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0℃以上
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。
※温水洗浄便座をご使用の場合は0℃以上です。

調整方法

●器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、不具合があったり何かの都合で動かした場合、機能を十分発揮できるように、調整をしてください。
※便器性能を確保するため配管の環境に応じて設置時に洗浄水量の調整（6ℓ～8ℓ）を行っております。

■給水量の調整

●万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でも、タンクから水が溢れないようにするために、次の要領で調整を行ってください。
(1) 止水栓を閉じ、タンクのふたを外します。
(2) 浮玉を押し下げながら、止水栓を徐々に開きます。
(3) この状態で、水面がオーバーフロー管の上端より10mm以上上昇しない程度に、止水栓の開きを調整します。

■水位の調整

●給水量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されている W.Lに合うように、浮玉を上下させて調整してください。
【浮玉の移動方法】
浮玉調整支持棒を右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。

修理を依頼される前に

●簡単な故障については、ご家庭でも直すことが出来ますので、次のような点検をしてください。

■水が流れて止まらない

●ボールチェーンがからまっていることが予想されます。からまりを取り除いてください。
●浮玉の脱落、支持棒やアームの破損等が予想されます。止水栓を閉じて修理を依頼してください。
●ボールチェーンが張りすぎていることが予想されます。少したるむように取り付け直してください。
また、フロート弁が傷んでいることが予想されます。フロート弁は消耗品ですので傷んだり、老朽化した場合は、新しいものと交換してください。
●異物がダイヤフラムの小穴に入り、止水不良を起こしていることが予想されます。止水栓を閉じて修理を依頼してください。

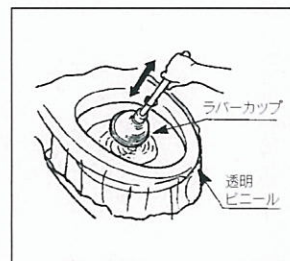
■便器への洗浄水の勢いが弱い場合

●ボールチェーンがたるみすぎてフロート弁が正常作動していないことが予想されます。少し張るようにしてください。

■便器が詰まった場合

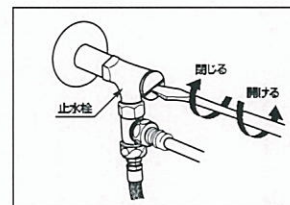
●汚物や紙が詰まった場合は、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使用し、次の要領で取り除いてください。

(1)便器排水口をふさぐようにしてラバーカップを静かに押しつけます。

(2)勢いよく手前に引いたり、排水口に向けて押し付けたり、数回繰り返し行います。このとき、透明ビニールシートなどでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。

注意

●固形の異物が詰まった場合は、除去できませんので、施工店に依頼してください。

■タンクへの給水時間が長くなった場合

●止水栓が十分に開いていないことが予想されます。
止水栓を開いてください。

注意

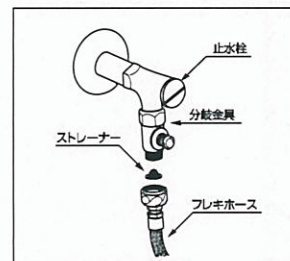
●止水栓を動かした場合は、必ず流水量の調整をしてください。

●ストレーナーが詰まっていることが予想されます。
以下の要領でストレーナーのゴミを取り除いてください。

(1) 止水栓をマイナスドライバーで右に回し、給水を止めます。

(2) フレキホースの袋ナットをスパナなどでゆるめ、取り外します。このとき、布きれなどで金具を保護してください。

(3) 止水栓の入り口に組み込まれているストレーナーを取り外して、掃除します。

(4) ストレーナーの掃除後、元のように取り付けてフレキホースの袋ナットを締め付けます。

アフターサービスについて

■点検・修理の依頼について

より安全にご使用いただくために、次の場合はお買い求めの販売店または、下記フリーダイヤルにご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用しても、ご不明な点や異常があるとき
●コードの傷みやコンセントのガタツキ
●コンセントやプラグの加熱

また、下記のような場合は、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても、長くお使いいただいているもの
●温泉地域など、特に腐食を起こしやすい所で使用されているもの

【連絡していただきたい内容】

1. ご住所・お名前・電話番号
2. 品名・品番・取付日（保証書をご覧ください）
3. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
4. 訪問ご希望日

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■保証について

この商品には保証書が付いています。

●保証書は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●保証期間は、取付日より2年です。

なお、保証期間でも、有料になることがありますので、保証書の記載事項をよくお読みください。

■保証期間中に修理を依頼されるとき

●もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常があるときは、お買い求めの販売店または、下記フリーダイヤルにご相談ください。

■保証期間経過後に修理を依頼されるとき

●お買い求めの販売店または、下記フリーダイヤルにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。

修理のご依頼および消耗部品のご注文は、下記のタカラスタンダード修理受付フリーダイヤルまで。

0120-557-910 受付時間9:00～18:00（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

保　証　書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書ご提示の上、お買い求めの販売店または、P6に記載のフリーダイヤルに修理をご依頼ください。

品名：	保証期間	取付け・引渡し日より**2年：全般**
品番：		取付け・引渡し日より**5年：防水機能**
お客様 お名前 ご住所 電話番号	取付け・引渡し日　年　月　日	
	販売店	

見本

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」「製品貼付ラベル」などの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合、表記の期間無料修理いたします。
2.無料修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3.ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の販売店に修理をご依頼できない場合は、P6に記載のフリーダイヤルにご相談ください。
4.保証期間内でも、次の場合には有料修理とさせていただきます。
①住宅用途以外で使用した場合の不具合
②お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
③施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
④建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する不具合
⑤塗装の色あせ等の経年変化または使用にともなう摩耗等による外観上の不具合
⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
⑦ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
⑧火災・爆発事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
⑨消耗部品の劣化による不具合
⑩配管への異物流入に起因する不具合
⑪温泉水、井戸水など水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合
⑫寒冷地仕様でない場合の凍結による不具合
⑬指定規格以外の電源を使用したことによる不具合
⑭電気・給水の供給トラブル等に起因する不具合
5.本書の取付け・引渡し日、販売店、お客様の欄に記載のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合は無効となります。
6.本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な点がある場合は、お買い求めの販売店または、P6に記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

タカラスタンダード株式会社

本　社　〒536-8536　大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号　TEL 06-6962-1531